

行動指針

1 全ては選手のパフォーマンスアップのために。

我々JARTA認定スポーツトレーナーが成すべき仕事は、選手の心身のパフォーマンスアップであり、選手が試合で成果を上げるためのサポートである。そのためには、全ての行動を選手主体とし、手段に囚われずにやるべきことを貫くこと。

2 努力は選手の責任、努力の方向性は我々の責任。

全ての成果は選手自身の努力の結果である。

我々の仕事は、それが実現できるように努力の方向性を形作ることである。

我々がやろうとしていることは、非常に難しいことであることを忘れず、できない理由でなく実現できるための手段に集中して自らを研鑽し続けること。

3 必要なことは、自信ではなく覚悟である。

選手は自分の競技に対して肚をくくっている。故に、我々も選手に対して覚悟を持って向き合うべきである。肚をくくっていなければ、それは必ず見抜かれる。

4 常にリスペクトを持つこと。

どんな選手にも、どんな関係者にも、他のどんな理論に対しても否定でなく、まず必ず敬意を持って接すること。

否定や批判からは何も生まれない。それはただの自己顕示欲であり、慢心である。

常に学ぶ姿勢でいることを心がけること。

自分ができることではなく、自分がまだできていないことに目を向けた先に成長がある。

5 全てにおいて手本となれ。

トレーニング指導の際の手本は当然のこととし、専門家として、そして人として尊敬されるような手本となること。

選手や指導者は、人として尊敬できる人に対して真の信頼を示す。